

マニュアル活用例～ 活動を支える支援(通いの場編) ～



＝【事例】Cさんの概要＝

年齢・性別 Cさん、〇〇歳、男性、妻と2人暮らし
既往歴 高血圧、軽度の物忘れあり（生活に支障なし）、出不精。
最近の様子 毎週通いの場に参加していたが、近頃顔を出さなくなった。

【ステップ1】 地域の人と協力して、つながりを保とう！

☑ “地域” とつながり続けるための工夫…P27

＝ Cさんの場合 ＝



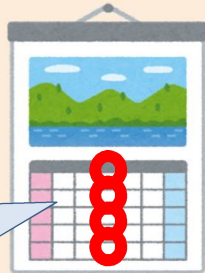
① 通いの場帰りに、Cさんと仲の良い知人と一緒に自宅を訪問。
・また顔を出してほしいことを伝えるが、「気分じゃない」との回答。
・後日、奥さんより「近頃耳が悪いみたい」との情報あり。

【ステップ2】 参加しやすい環境を整えよう！

☑ 目で見て分かるような工夫をしましょう。…P25

＝ Cさんの場合 ＝

② 開催日を目につくやすくする。
・毎週火曜日に赤丸
・始まる時間を掲載



③ どの体操をしているかわかりやすいよう掲示する。
・体操ポスター掲載
・体操のポイントを書き込む。



【ステップ3】 興味や強みを活かした役割につなげよう！

☑ 「したいこと」「できること」を活かし、活動と参加の機会をつくりましょう…P26

＝ Cさんの場合 ＝

④ 興味関心チェックシートでは、「カラオケ」が「してみたい」との記載あり。



⑤ レクリエーションのカラオケで歌を披露。皆からとても好評！参加意欲や本人の自信につながった！

⑥ その後、声をいかにして、体操の号令係を担当！



(まとめ)

- * 通いの場へ顔を出す機会が減った理由は、「聞こえづらさ」が原因でした。
- * 地域とのつながりを保ちつつ、Cさんが通い続けられる環境を整えたこと、また、役割を持ってもらうことで、活動を再開することができました！！！！

参加者も通いの場を運営する一員です。
それぞれの強みを引き出して、
活かせる機会をつくることも大切です！

